

2021 年度（第 17 回）精密工学会賞受賞業績の紹介

青 山 英 樹

青山英樹氏は長年にわたり、工作機械の知能化・最適化をはじめとした生産加工技術の高度化に加え、デザイン・設計を含むバリューチェーンの総合的な視点から CAD/CAM およびデジタルデザイン・デジタルマニュファクチャリングの分野において、先駆的な研究に取り組んでこられました。また、産学の連携においても、ものづくりのベースとなる金型の製造を担う若手技術者の育成に尽力されています。

最近では、デザイナー・ユーザの感性を工学的手法で分析評価し、製品デザインを創発するシステムや、工学的理論および熟練技能者の経験・知識に基づき高度な加工を実現する次世代の生産システムの開発など、最先端の研究領域を先導されています。

学会活動では、精密工学会において理事、監事、副会長（2018～2019 年度）を歴任され、学会運営に多大なる貢献をされています。また、ほかの学術協会団体においても型技術協会会長、日本工作機械工業会技術委員会標準化部会幹事などの重要な役職を務められ、他学会との連携や人的交流の活性化に尽力されています。

以上のように、青山英樹氏は、精密工学会のみならず、日本のものづくり全般において学術・産業界へ長年にわたり多大な貢献をされてきました。ここにその功績を称え、精密工学会賞を贈賞いたします。



略 歴

- 1981 年 室蘭工業大学機械工学科卒業
- 1981 年 苫小牧工業高等専門学校機械工学科助手
- 1992 年 博士（工学）（北海道大学）
- 1992 年～1993 年 カリフォルニア大学（DAVIS 校）研究員
- 1994 年 慶應義塾大学理工学部機械工学科専任講師
- 1996 年 慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学科助教授
- 2004 年 慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学科教授
- 精密工学会フェロー（2015 年度）
- 日本機械学会フェロー